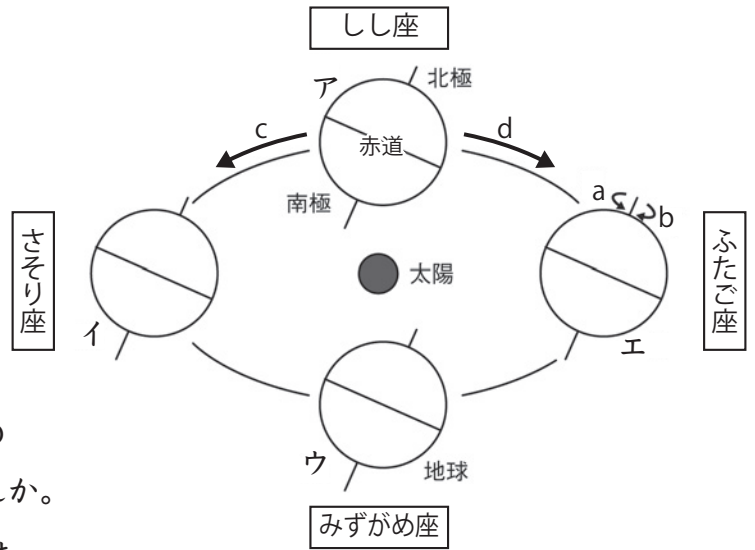


天体の1年の動き(3)

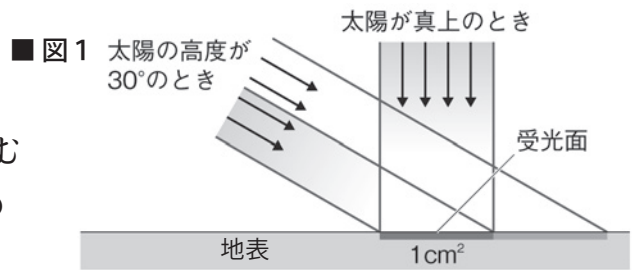
名前

右の図は、地球が太陽のまわりを公転する様子を表している。以下の問いに答えなさい。

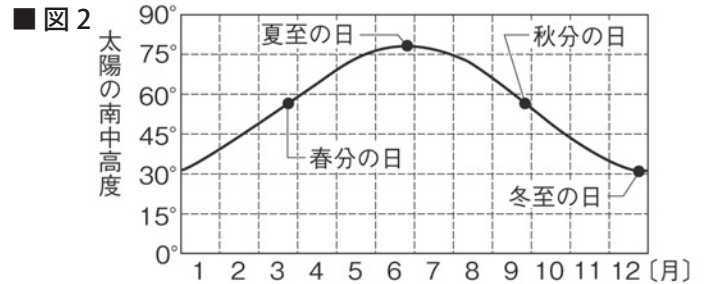


- (1) 地球の自転の向きとして正しいのは、aとbの矢印のどちらか。
- (2) 地球の公転の向きとして正しいのは、cとdの矢印のどちらか。
- (3) 地球がア～エの位置にあるとき、日本の季節はそれぞれ、春、夏、秋、冬のどれか。
- (4) 真夜中の南の空にさそり座が見えるのは地球がア～エのどの位置にあるときか。
- (5) (4) のとき、地球から見た太陽の方向にある星座は、「ふたご座」「しし座」「さそり座」「みずがめ座」のうちのどれか。

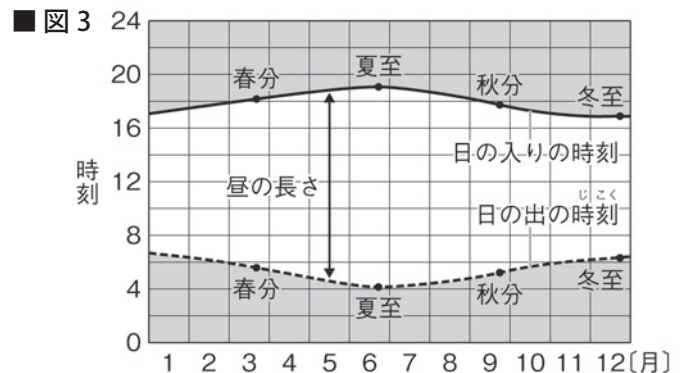
- (6) (4) のとき、地球から (5) の星座は見えるか。
- (7) 図1は、2つの角度から太陽の光が地表に差し込む様子を表している。太陽が真上のときと、太陽の高度が30°のときでは、どちらの方が1cm²あたりの地表が受けるエネルギーの量が多いか。



- (8) 図2のグラフは、日本から見た太陽の南中高度の変化を表している。「夏至の日」と「冬至の日」では、どちらの方が太陽の光が地表に差し込む角度が高いか。



- (9) 図3は、東京で観測した、一年間の日の出と日の入りの時刻をグラフに表したものである。夏と冬では、どちらの方が昼の時間が長い。
- (10) 日本では、夏に暑くなるのはなぜか。「太陽の高度」「昼の長さ」「エネルギー」という言葉を使って簡単に説明しなさい。



(1)	a	(2)	c	(3)	ア	春	イ	夏	ウ	秋	エ	冬	(4)	イ
(5)	ふたご座	(6)	見えない	(7)	真上のとき	(8)	夏至の日	(9)	夏					
(10)	例) 太陽の高度が高くなるのと、昼の長さが長くなるのとで、地表が受けるエネルギーが多くなるから。													